生徒指導部通信

令和４年度第５号
令和５年２月28日
文責　佐藤実和子

■ 後悔しないことは良いこと？

３年生の皆さん、明日に控えた卒業式を前にどのようなことを思っていますか。真っ先に浮かんだのはどのような思いでしょうか。私が高校を卒業するときに浮かんだ思いは「後悔」でした。勉強と部活動には力を入れていましたが、学校祭や球技大会などの「全員で力を合わせて何かを成し遂げる」類の学校行事が苦手でした。皆さんが学校行事を楽しんでいる姿を見るたびに、羨ましく思います。私も学校行事を楽しむことができたら今とは変わった景色が見えたのかもしれないと後悔していますが、その経験があったからこそ成長した面もあります。

剣道の世界に「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。「打って反省」とは、もし相手を打って勝ったのならば、打ち方のフォームは適切だったのか、あるいは勝ち方は最良だったのかなど結果を振り返って反省し、常に改善・向上に努めなさいという教えです。そして「打たれて感謝」とは、相手に打たれて負けたならば、自分の弱点を相手が打って気付かせてくれたと考え、相手に感謝しなさいという教えになります。

私は「後悔」も、この教えに当てはまると考えています。後悔するからこそ、自分の心や行動に課題を見つけて改善し、より良い生き方を見つけていきます。後悔することは決して悪いことではありません。ただ、後悔をそのままにせず、自分の成長の糧にして生きてください。



■ 今年度を振り返って



今年度、前期生徒総会でスマートフォン使用のルールが変更になりました。皆さんの意見や考えをもとに、生徒会執行部が考えた主体的なルールとなりました。新たなルールとなり１年が経ちましたが、ルールをしっかり守りながら生活することができましたか？

メディアリテラシー的な部分はおおむね良好ですが、スマートフォンでのゲームを含めた私的利用や歩きスマホが散見されます。生徒指導部通信第１号で「『きまり＝学校のルール』は、皆さんが安心・安全に生活するための最低限の約束事」ということを述べていたのを覚えていますか。安心・安全があるからこそ、自由を求めて生活できます。自分を律した生活が、自由につながることを改めて確認しましょう。

また、この１年間は「相手のために、思いやりのある行動へ」という目標で皆さんと過ごしてきました。相手というのはクラスメイトだけではありません。学校では先生方や来客の方、広い意味では社会に対してです。今年度を振り返って、皆さんはこの目標を達成できたでしょうか。特に「言葉」について考えてみましょう。皆さんは自己を表現するツールである「言葉」を持っています。「言葉」があるからこそ、私たちの生活は豊かになります。しかし、「言葉」は時に凶器となることがあります。だからこそ、思いやりのある行動をする必要がありました。

３年生の皆さんは高校卒業後も「相手のために、思いやりのある行動」を忘れずに過ごしてください。１、２年生の皆さんは、「相手のために、思いやりのある行動」をさらに磨き、生活をしてください。

